

# ケアセンターけやき

高田 九妃(事務員)

**功 績** 常に丁寧で細かな気配りを実施し、接遇の手本となりご利用者・ご家族の安心と資格取得(介護事務)を実践し、請求業務にも携わるなど業務改善を率先して実行しケアプランデータ連携・メルタスによるペーパーレス化に貢献した功績

**推 薦 者** 事務営繕栄養科 主任：島山智貴

**推 薦 理 由** 職員退職に伴い事務員が3名と減少するなか、請求業務のフォローを依頼しました。けやきは複数の事業所がある総合施設です、各部署の加算や内容も理解しつつ、精神的にも負担のかかる請求業務は簡単ではありません。またシステムの変更もしたため負担はそれ以上の中、努力とセンスでご利用者への安心、つながりある職員環境をつくっています。他施設とのシステム連携、メルタスファミリーでのペーパーレス化も積極的に声かけして互いの業務効率にも貢献しており、お手本となる職員代表として理事長賞に推薦いたします。

## 内 容

高田は誰に対しても丁寧で好感度の高い職員です。受付や電話対応も適切で常にけやきの顔として貢献しており、話しやすく対応がやわらかいため職員間のつながりに貢献し月間MVP(挨拶が気持ちいいで賞)に選出されました。

平成26年7月入職からパートで総務を担当し、私が育休取得した際は入職等手続き書類の作成や本部とのやりとりも対応しております。

令和5年3月家庭の事情でパート事務員1名退職し事務3名(常勤2、パート1)になりました。また、令和5年8月常勤事務1名が家族介護でパート事務に変更となり、事務常勤1名、パート2名体制になった際、どのように業務を振り対応するか、何を優先に対応していくかを検討していた中、退職の職員から業務内容や状況の話をしていた高田に多くの業務依頼をしました。

高田としてはやったことがないこと、ご利用者のお金に直結すること、業務量、体調等様々なことを不安に感じていたので最初は表情も曇っていましたが、徐々に使命感や努力が大きな不安を超えていきました。昨年度はケアプランデータ連携やメルタスファミリーでの請求書・領収書ペーパーレスなどシステムの変更も実施したため、システムの把握や確認作業も多く、負担と謎だらけだったと思います。

ケアプランデータ連携では同システムを利用している他施設にも積極的に話をすすめ、メルタスではご家族にスマホでの対応になることを丁寧に説明するなど「親身な対応」に努め、今まで紙で送っていた書類をデータで送信し効率性を高めていっております。

更に多忙のなか業務理解を深めるため夜な夜な介護事務の勉強にチャレンジして見事資格を取得しております。この影の努力が自信と安心を導き、今やパートながらに事務での業務改善の中心人物となっております。